

平成23年度 第2回 奈良県がん予防対策推進委員会 議事要旨

日時:平成23年11月2日(水) 午後4時～6時

場所:奈良医大蔵書会館・3階大会議室

出席者:

(委員)大石元、伊藤高広、小林浩、國安弘基、藤井久男、森田隆一、鴻池通子、
高野由子、馬詰真一郎、吉岡敏子

(オブザーバー)久保田幸治、山田全啓

(事務局)橋本安弘、大原賢了他

概要:(以下、主な意見・質問)

○ 委員メンバーは多忙であるが、事務局は、がんの種類毎の専門家1名と県医師会代表の委員が必ず出席できるよう、日程調整に留意すること(委員長)。

(1) <議題1> 平成23年度がん検診精度管理調査の結果について

○ 宮城県市町村では、現状ではAが多く、Bが少数、C以下は無いが、当初はC、Dランクもあり、結果公表により向上したと聞いている。

○ 成績が悪いのは精密検査結果データが把握できないためではないか。

(→各市町村はデータ把握に努力されているが、指標の計算まではできていない。このため、県への報告様式の変更と簡略化を検討中。(委員、事務局)

○ 検診機関で「診断のための検討会や委員会の設置」が行われるよう、県から指導を行うべきである。

○ 学会基準を採用していない検診機関は、他の項目が良くてもDランクとすべき

ではないか。

- 自己申告による結果を確認するために、委員会が毎年計画的に市町村や検診機関の監査を行ってはどうか。
- 調査によりできていない項目が明確となったので、今後はその項目をつぶしていく必要がある。
- 調査結果は、市町村がん検診のみの結果であり、事業所がん検診の結果でないことを明記すべき。
- 事務局で、市町村や検診機関への指導内容を整理し、各委員に報告すること。今回の結果は委員会として公表する。

(2) <議題2> がん検診台帳の整備のあり方について

- 未受診者の検索は殆どの市町村で可能であるが、未受診者への受診勧奨を行っていないため、検索も行われていない。
- 全市町村統一のシステム整備は不要であるが、最も大きい奈良市のシステムが住民基本台帳と連動していないのは問題である。
- 県内のシステム整備状況を市町村に情報提供いただくとともに、できていない市町村(幹部)への県からの働きかけをお願いしたい。
- 患者会として、できることがあれば協力したいので、機会があれば教えて欲しい。

(3) <議題3> 胃がん検診指示区分の変更と従事医師研修会の開催について

- 指示区分の変更は、胃がん検診でピロリ菌感染の有無を判定し、受診勧奨に

役立てることが主旨。

(4) <議題4> その他

- 大腸がんクーポン事業を、県内全市町村で実施されるよう、県から働きかけをしてほしい。

以 上